

## 2025年度第8回価格審査会の開催について

2025年度8回価格審査会が開催されたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2025年11月14日(金) 10:00~12:00
場 所	本部6F大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長:小林 法雅、次長:南 昌宏 建築調査部 部長:高橋 俊一、次長:岩井 卓矢 監査審査室 室長:黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長:大澤 勝、課長:本間 哲

2025年度第7回価格審査会議事録(案)確認

2025年度第8回価格審査会審議資料説明

### 審議資料の説明

#### 1. 「建設物価」12月号、「Web建設物価」12月号の入稿状況

##### ・価格が上伸した資材（工事費）

##### 【Web建設物価】

セメント（バラ）（大津市ほか10都市）、レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（五所川原A地区（旧五所川原市）ほか16都市）、道路用碎石類（米沢市ほか5都市）、再生碎石類（いわき市ほか2都市）、PHCパイプ（札幌市ほか9都市）、アスファルト混合物（甲府市ほか23都市）、600Vビニル絶縁電線（IV）（全国）、鉄スクラップ（全国）、非鉄スクラップ（札幌市ほか9都市）ほか

##### ・価格が下落した資材（工事費）

##### 【Web建設物価】

H形鋼（全国）、等辺山形鋼（札幌市ほか37都市）、鋼板（福井市ほか6都市）、ストレートアスファルト（全国）、燃料油（札幌市ほか62都市）ほか

#### 2. 比較資料

##### ・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	ストレートアスファルトが原油価格の値下がりを背景に下落しているなか、需要が低迷しているレディーミクストコンクリートは、価格が下落することなく上昇しているのはなぜか。	レディーミクストコンクリートは、地域ごとに共同販売を行っているため、需要が減少しても競合性が低く値上げが浸透しやすい。一方で、ストレートアスファルトは、原油価格の変動に応じて、元売り各社が仕切り価格を改定するため、原油価格の影響を強く受ける。
質問 2	大阪地区のセメント価格が値上がりした背景は何か。	セメントメーカー各社は今年4月からトン当たり2,000円以上の値上げを表明し、全国的に順次値上げが浸透している。一方、大阪地区では、値上げが浸透せず、セメント価格は横ばいで推移していた。しかし、大阪広域生コンクリート協同組合は、来年4月からm3当たり8,500円の大幅な値上げを打ち出しており、その値上げに先立ち組合員がセメント価格の値上げを受け入れたため、大阪地区のセメント価格は上伸した。
質問 3	住宅着工数が減少しているなか、木材価格が横ばいとなっている理由は何か。	木材は、国産材と輸入材で価格動向に違いが見られる。国産材は製材コストの上昇、輸入材は円安や輸送コストの上昇と、それぞれ値上げの意向はあるが、いずれも住宅着工数の減少等による需要低迷により、価格交渉は進展していない。
質問 4	鉄筋コンクリート台付管が、同じ地区で上伸、下落しているのはなぜか。	メーカーがコスト構造を見直した結果、価格体系が改定され、全体としては値上げ傾向となった。一方で、一部品目では値下げが行われたため、価格は上伸と下落が混在する状況となっている。
質問 5	鉄スクラップ価格が上昇している一方で鋼材価格が下落している。このような相反する値動きの要因は何か。	鉄スクラップは輸出による海外相場の影響で上昇するが、国内の鋼材需要が弱く、製品価格に転嫁しにくい状況がある。また、近年、電炉メーカーはスクラップ価格と製品価格を連動させない方針を打ち出していることも関係する。
質問 6	燃料油について「旧暫定税率廃止に向けた補助金の拡充が見込まれるため、目先、弱基調の公算が大きい」という市況コメントだったが、減税や補助金により価格が下がることに対する先行き気配は「弱基調」という表現となるのか。	建設物価の掲載価格は実際の販売価格である。旧暫定税率廃止に向けた段階的な補助金投入により販売価格が下がる見込みのため、価格動向として下落を示し、「弱基調」と表現している。

質問 7	大手総合建設会社が最高益を達成しているとの報道が続いているが、今後の資材価格に与える影響をどう見るか。	買い手側の収益環境が良い時は値上げが通りやすく、資材価格の上昇要因になり得る。ただし、すべての資材が一律に上がると断定できず、影響の強弱には不透明さがある。
質問 8	再生アスファルト合材の上昇が他資材より遅い要因を説明してほしい。	維持修繕工事が中心で需要が伸びないなか、出荷減に伴う固定費負担の増加や製造コスト・輸送コストの上昇を背景に、メーカー各社は値上げ交渉を継続してきた。しかし、原材料であるストレートアスファルトが下落傾向にあり、需要家の値引き要求も強かったことから、価格は上がらない状況が続いていた。ここに来て、各地区で上昇率こそ他資材より低いものの、ようやく価格が上昇へ転じている。
質問 9	ガソリン暫定税率見直しで揮発油税上乗せが減る場合、地方道路予算・発注量は減少すると考えられるが、資材価格への影響はどのように考えられるか。	暫定税率分の代替財源が確保されない場合、道路関係予算が縮小し、工事の発注量も減ると見込まれる。その結果、需要減により道路関連資材の価格は競争が強まり、下押し圧力がかかる可能性がある。政府で代替財源を検討中であるとも言われているが、先行きは不透明である。
質問 10	H形鋼は需要低迷や輸入鋼材の安値流入の影響があるなか、市況の見通しを横ばいと判断した理由を知りたい。また、札幌地区で価格が大きく変動したのはなぜか。	一部の電炉メーカーが販売価格を引き上げたことで先安觀が解消され、市場の下落ムードに一服感がでていることから、目先は横ばいと判断した。札幌地区は本州と在庫状況、需給動向、競争環境等が異なり、今月は在庫調整のタイミングで価格が大きく変動した。
質問 11	福岡地区ではレディーミクストコンクリート価格が横ばいで推移する中、原材料のセメント価格が値上がりしている。先行きの見通しを教えて欲しい。	福岡地区は再開発等で出荷は堅調に推移しているが、セメントの値上がりにより製造コストが増加し採算は厳しくなっている。員外社との競合もあり値上げは浸透していないが、共同販売事業の体制を強化すると共に粘り強く値上げ交渉を継続している。
質問 12	電線は銅の建値高騰により価格上昇が続く中、調達不安の懸念がある。現在の調達状況の見通しはどうなっているか。	銅の建値は過去最高値水準に迫っているが、現時点でもメーカー・流通から調達不安の明確な発表はされていない。働き方改革の影響で工場の柔軟な増産が難しい側面はあるため、流通は早めの発注で対応している。今のところ調達不足の顕在化は確認していない。

質問 13	資材価格高騰が工事需要全体に与える影響と市場見通しをどう考えるか。	資材価格高騰と人手不足で事業予算が見合わず、中小物件を中心に需要減少が進むリスクがある。資材価格の上昇基調は続く一方で需給環境は厳しさを増す見通しで、公共予算の動向次第で地域差が生じる可能性がある。市場見通しの予測は難しいが、工事需要の縮小圧力が強まる懸念は否定できない。
質問 14	電線の価格高騰と国際的な需給動向が国内事業へ与える影響をどう見るか。	銅の建値は 2024 年の過去最高値に迫る高値圏にあり、メーカーの製造・輸送コスト増加も国内価格を押し上げる要因となっている。国内の建設・電気機械向けの出荷は減少傾向で、国内市場は冷え込んでいる。国際的な需給動向は中国の景気など複数要因が絡み不透明で確度の高い予測は困難である。
質問 15	鉄スクラップの輸出先と需要の状況を説明してほしい。	鉄スクラップは東南アジア向け輸出が多く、インドネシアやベトナムなどでインフラ整備や建設需要が回復しており、海外相場が国内スクラップ価格を押し上げる要因となっている。中国は不動産不況の影響で需要が弱い。今後は低炭素化の流れで国内でもスクラップ使用が拡大し、海外との競合が強まる可能性がある。
審議結果	「建設物価」12月号、「Web 建設物価」12月号の価格動向に問題はなかった。	

以 上